

入院診療計画書

非密封小線源（I 131）内服治療を受けられる

パス テスト001 様へ

主治医氏名	印
主治医以外の 担当者 氏名	担当医師
	看護師長
	担当看護師
	管理栄養士
病名	
症状	
手術	なし
特別な栄養管理の必要性	(あり・なし)

放射線科 患者番号	病棟 0008985093	病室
患者または代理人同意署名 年 月 日 氏名 *代理署名の場合 患者との続柄 ( )		

入院治療の目標（達成目標） 治療上の制限が理解できる。症状の観察と報告ができる。退院後の生活における留意点が理解できる。

推定入院期間	入院前準備期間	入院日・内服当日 ( / )	内服2日目 ( / )	内服3日目 ( / )	内服4日目～退院まで ( / )～ ( / )
注射	なし	なし	なし	なし	なし
内服	・医師に指示された日から、甲状腺ホルモン薬剤を内服しないでください。		・普段内服している薬剤は内服を続けます。 ・吐き気があるときには吐き気止めを内服することが出来ますのでナースコールでお伝えください。		・医師の許可後、甲状腺ホルモン薬剤の内服を再開します。
検査	・体の状態を確認し放射性ヨードカプセルの量を定めるため、採血・CT・RI検査を行います。	・放射性ヨードカプセルの内服前に採血を行います。 ・夜、医師が放出される放射線の線量を測定します。	・医師が毎日朝と夜、体から放出される放射線の線量を病室で測定します。		・医師が朝、体から放出される放射線の線量を測定します。 またRI検査室にて、内服した放射性ヨードがどこに集まったのかを調べる検査を行います。
処置	なし	なし	なし	なし	なし
教育・説明・指導	・RI病室へ持ち込む生活用品（スリッパ、箸、歯ブラシ、コップ、下着、めがねなど）は、必ず使い捨ての物をご用意下さい。また唾液の分泌を促す食品（梅干し、飴、ガムなど）も準備してください。	・RI病棟内の説明を看護師が行います。RI病棟内へ持ち込んだ物は原則として家には持ち帰りません。退院時に必要な服や靴、かばん、貴重品は、RI病棟内へは持ち込まずに金庫などでお預かりします。 ・入院後に必要なものがある場合は、看護師が代わりに購入し病室内に届けますのでお伝えください。 ・検温は朝6時、昼2時、夜7時に行ってください。体温計で熱を測定し、血圧計を手首に巻いて測定して下さい。トイレの回数は正の字で記載してください。食事量も記載してください。 ・テレビ監視モニターの使用について医師から説明があります。	・放射性ヨードカプセルを内服後、数日中は汗、唾液、尿、便、吐物などに放射性ヨードが含まれます。また、副作用として吐き気、嘔吐、のどの圧迫感や痛み、かすれ声、息苦しさ、物がつかえる感じ等の症状が出現する場合があります。そのような症状が出現した場合はナースコールで看護師に報告してください。		・放射線の線量が規定以下になったら、退院許可となります。医師よりご家族に退院の連絡をさせていただき、退院の時間を決定します。 【退院指導】 ①次回再診日には必ず受診してください。 ②3日間程度は体からわずかな放射線が出ていますので、乳幼児や妊婦との接触はさけたり、人が集まる場所への外出は避けるなど、周囲への配慮を心がけてください。 ③お渡しする患者カードを常に携帯してください。
安静度	・特に制限はありません。	・放射性ヨードカプセルを内服後、放射線の線量が規定の値まで減少しないと退院できません。病室内でお過ごしください。			・シャワー浴後にRI病棟を退室し、一般病棟のデイルームへ移動します。
食事	・放射性ヨードカプセルが効果的に作用するよう、入院の2週間前からヨード制限をしてもらいます。昆布、わかめ、のりなどの海藻類やそれらを使用した加工食品は摂取しないでください。	・ヨード制限食が出来ます。ヨードを含まない製品であれば、病院食以外でも摂取可能です。また放射性ヨードの排泄を促すために、水分を多く摂取するように心がけて下さい。 ・使い捨ての食器はゴミ袋に捨てて下さい。また残飯は所定の透明袋に入れ、口を結び日付を記入して廊下にある冷蔵庫へ入れて下さい。	・唾液の分泌を促進させる食品（梅干し、飴、ガムなど）を積極的に摂取するように心がけてください。		・退院許可後はヨード制限はありません。 
排泄	・特に制限はありません。	・排泄後はトイレの水を3回以上流して下さい。 ・トイレ以外に排泄物が出た時、また吐いた時には、速やかにナースコールで看護師に報告してください。			・退院許可後は制限はありません。
清潔	・特に制限はありません。	・病室内でシャワー浴が行えます。希望があれば体を拭くタオルをお渡しします。使用後の病衣やタオルは、別々のビニール袋に分けて入れ、口を閉じ日付を記載し冷蔵庫横の専用箱に入れてください。			・退院許可後に病室内でシャワー浴を行い、退院時の服へ着替えませず。病室内で着ていた服は破棄しますので、病室内に残し持ち出さないでください。
リハビリ	なし	なし	なし	なし	なし
その他	なし	なし	なし	なし	なし

\*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

\*入院期間については、現時点での予想となり、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

\*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院

2022年7月改訂

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地 TEL:055-273-1111(代表)